

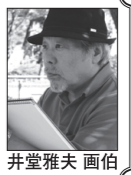
金銀箔ちらし木版画

『弘前城の桜』

限定20部

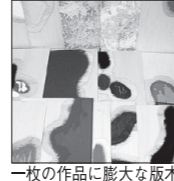


画寸(約):縦38×横58cm、版数摺度数:48版54度摺、金銀箔ちらし仕上げ、画伯自筆のサインと落款、エディションナンバー入り、木製専用額(約):縦59×横78.5cm、木製金箔縁、アクリル板、収納用タトウ箱つき



井堂雅夫 画伯

岩手県出身。1960年より京都在住。1973年、日本版画協会入選。日動版画グランプリ入選。三軌会新人賞受賞。国内はもとより、アメリカ、中国、スイスなど海外で個展開催。1993年、NHK大河ドラマ「琉球の風」版画展。1996年、宮沢賢治生誕百年祭・公式ポスター制作。2004年、京都・永観堂禅林寺に「救世阿彌陀如来」、「錦秋永観堂」の肉筆画二点奉納。ロサンゼルス・カウンティ美術館に作品収蔵。2008年、日本十大名桜第二作「弘前城の桜」を完成。NHK「にんげんマップ」、「趣味悠々」に出演。2016年、逝去。



一枚の作品に膨大な版木

48版54度摺り。江戸の浮世絵さながらに、一枚一枚、丹念に(手彫り)(手摺り)『弘前城の桜』は、48枚もの版木を用い、54回も摺り上げるといふ作業を重ね完成します。その過程で一度でもずれてしまえば、作品として認められません。(手彫り)《手摺り》の伝統技法を駆使して、自然の色合いを最高度に表現しています。弘前城の桜 作品は、井堂雅夫画伯が1点1点確認し、完全な作品のみに、エディションナンバー、および自筆サインと落款が入ります。

凍てついた冬の後、必ず春がきて、満開の桜を祝うことができる。私は、日本人を力づけてくれる名桜を、心を込めて描きました。」太宰治、棟方志功が愛した桜、井堂雅夫画伯による「日本十大名桜」。

再生して復活日本の桜の力

満開の桜の森の中に、聳える城。満月に照らされる天守閣。爛漫と咲き誇る薄紅の桜は、左右から押し寄せるように瑠璃色の夜空を覆っています。桜吹雪が舞い上がり、壕に映る満月も幻想的な風景を生み出します。そこは、「日本一」との声も高い青森県弘前市「弘前城の桜」。



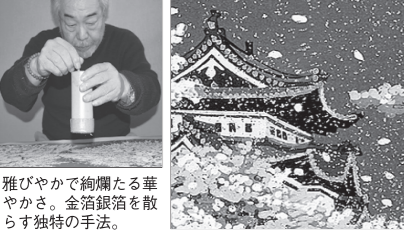
お部屋を華やかに彩る木製金箔縁の豪華専用額。床置きできる木製簡易組立式の「額置スタンド」も別売にてご用意。寸法(約):縦59×横78.5cm

明治期に荒廃した城を悲しみ、一人の旧藩士が手植えをした桜がきっかけとなり、今では二六〇〇本もの桜が咲乱れる名所。その風景は、文豪の太宰治や世界的版画家の棟方志功も愛した景色です。

東京書芸館オリジナル作品

本作品は画業40周年を記念した井堂雅夫画伯の傑作。みずみずしい色彩、豊かな詩情の作品で国内外から高い評価を受ける画伯が日本の再生を重ね心を込めて描いた「弘前城の桜」です。

月明かりの降り注ぐ桜には金銀箔が散らされ、絢爛たる描写。(手彫り・手摺り)



雅びやかで絢爛たる華やかさ。金箔銀箔を散らす独特の手法。

お申込み方法
ハガキ・FAX・ネットまたはお電話でお申し込みください。
郵便はがき 〒140-8536 東京書芸館
①「弘前城の桜」
②〒・住所
③氏名(フリガナ)
④生年月日
⑤電話番号
⑥支払方法(一括/月々)
⑦日経係